

岡崎市国際化推進基礎調査

報告書 (概要版)

岡崎市

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

外国人市民の生活の状況と日本人市民の国際化・多文化共生に関する意識・要望等を把握し、岡崎市の国際化推進に関する取り組みを進める上での基礎資料とします。

(2) 調査方法

郵送による送付・回収

外国人市民の調査票は外国語版（ポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、英語、タイ語、インドネシア語の8言語に翻訳）とルビ付き日本語版を使用しました。

(3) 調査期間

平成23年2月10日（木）から平成23年2月28日（月）まで

(4) 調査対象者

①外国人市民

韓国・朝鮮国籍者を除く満20歳以上のすべての外国人市民 約7,000人

※韓国・朝鮮国籍者のかたの多くは日本人と同様の生活をしていると推測されるため、今回の調査対象から除外しました。

②日本人市民

満20歳以上の日本人市民 5,000人

※年代別の回収比率を人口比率に近いものとするため、同種調査での回収率を参考に年代別に下記人数を無作為に抽出しました。

20代=1,200人 30代=1,300人 40代=1,000人 50代=800人

60歳以上=700人

(5) 回収率

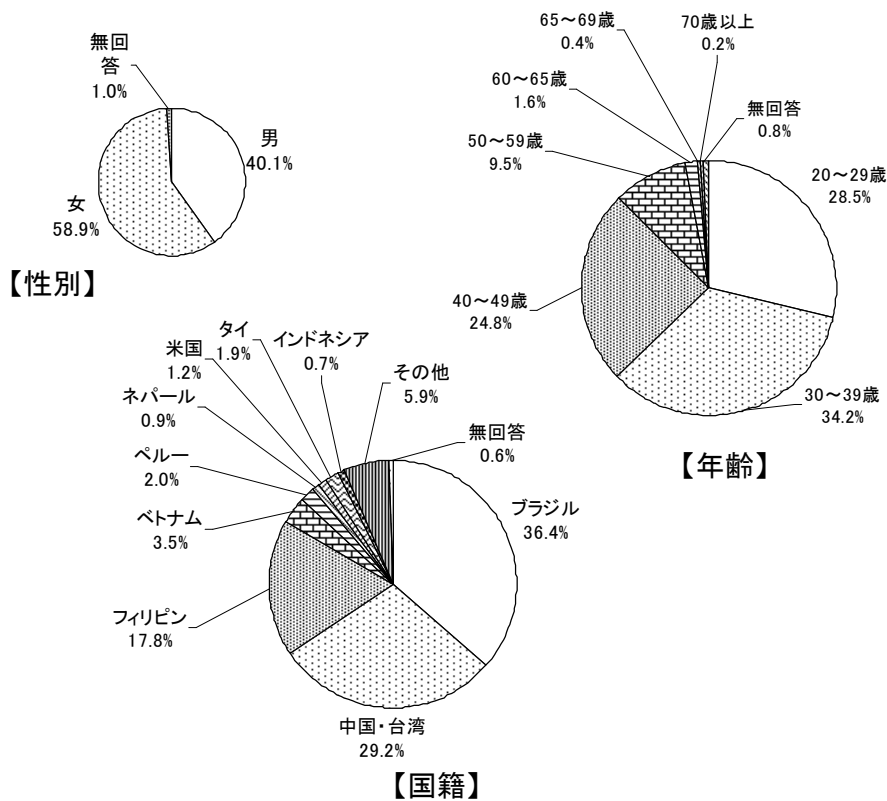
区分	対象者数	回収数	回収率
①日本人市民	5,000	2,129	42.5%
②外国人市民	7,088	1,517	21.4%

外国人市民 国籍別回収率

国籍	対象者数	回収数	回収率
ブラジル	3,314	556	16.7%
中国・台湾	1,706	446	26.1%
フィリピン	1,128	271	24.0%
その他	940	244	25.9%
計	7,088	1,517	21.4%

2. 外国人市民の調査結果

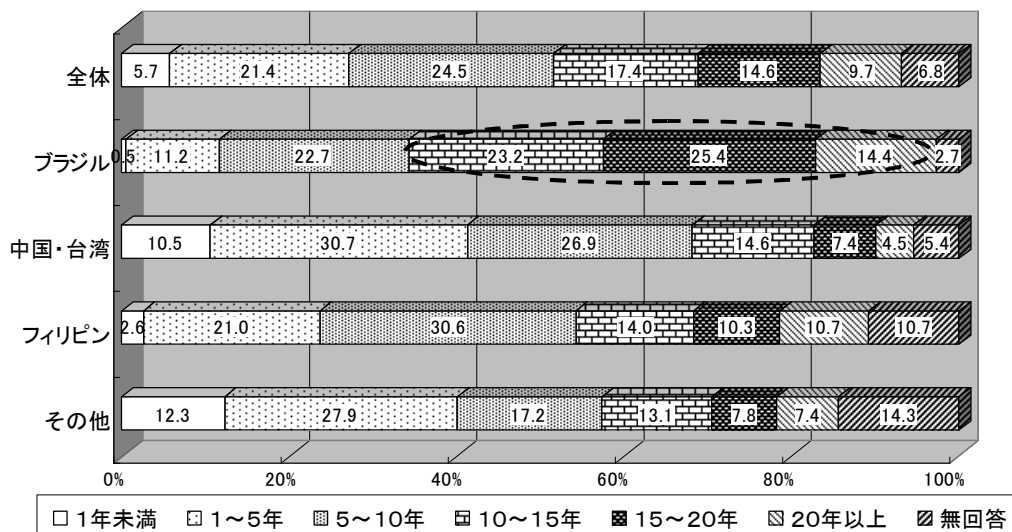
回答者の属性



在日年数と帰国の意思

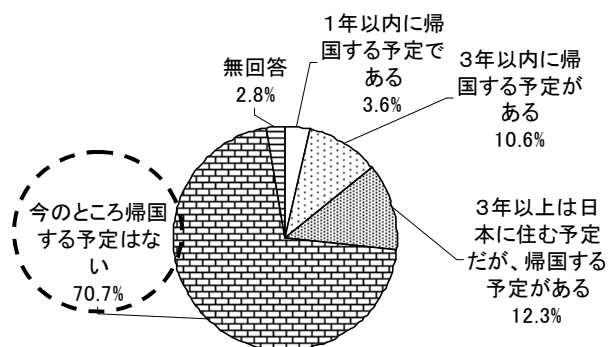
- ・外国人の4割以上は、日本で10年以上生活しています。
- ・ブラジルでは6割以上を占めています。

Q. 何年日本に住んでいますか？



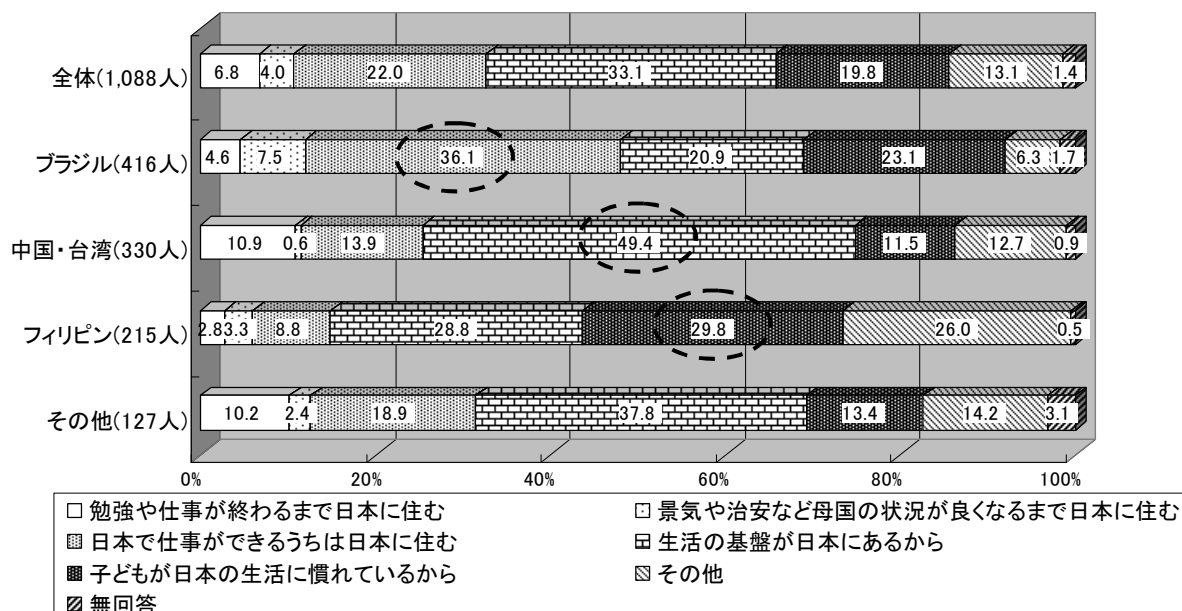
・ 7割以上が母国に帰国する具体的な予定がありません。

Q. 母国に帰国する予定はありますか？



- ・ 日本で生活続ける理由は、「生活の基盤が日本にある」と「子どもが日本に慣れている」で約5割を占めています。
- ・ ブラジルは「日本で仕事ができる間は日本に住む」が多い。
- ・ 中国・台湾は「生活の基盤が日本にあるから」が多い。
- ・ フィリピンは「子どもが日本の生活に慣れているから」が多い。

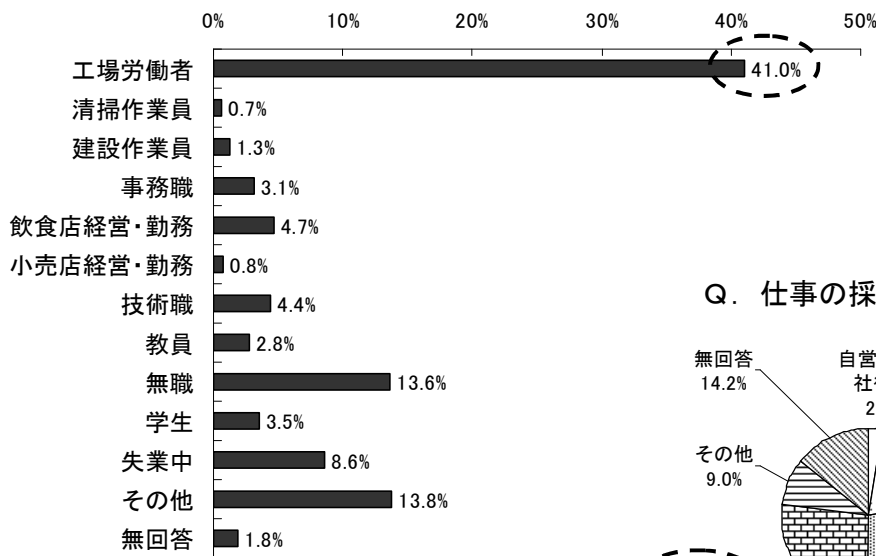
Q. 日本での生活続ける理由は何ですか？（帰国予定がない人のみ回答）



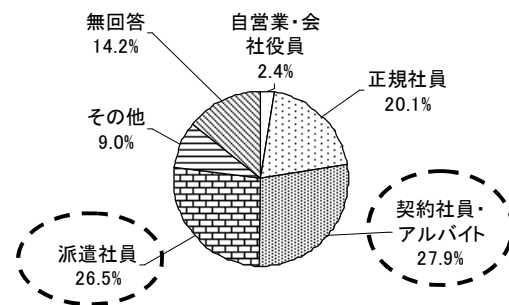
仕事と住居

- ・工場労働者が1番多く、ブラジルは6割以上を占めています。
- ・契約社員や派遣社員などの非正規採用が5割以上を占めています。

Q. どんな仕事をしていますか？

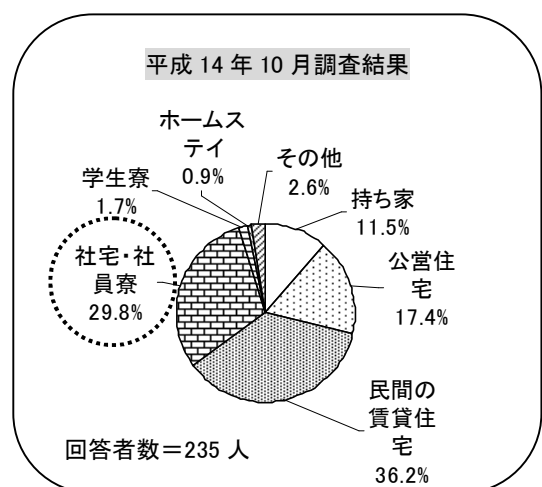
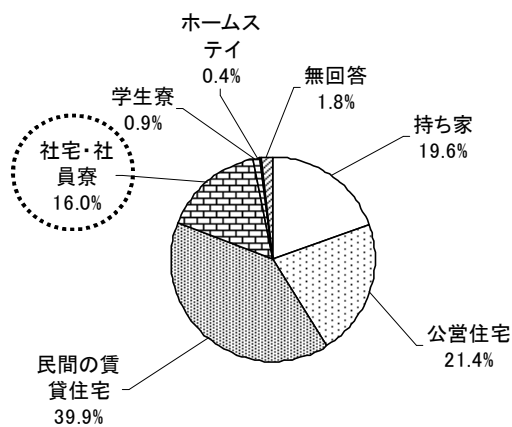


Q. 仕事の採用形態は？



- ・社宅や社員寮に住む人が減少し、持ち家・公営住宅・民間の賃貸住宅に住む人が増加しています。

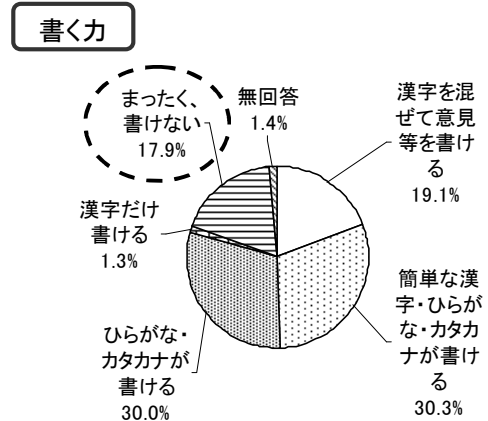
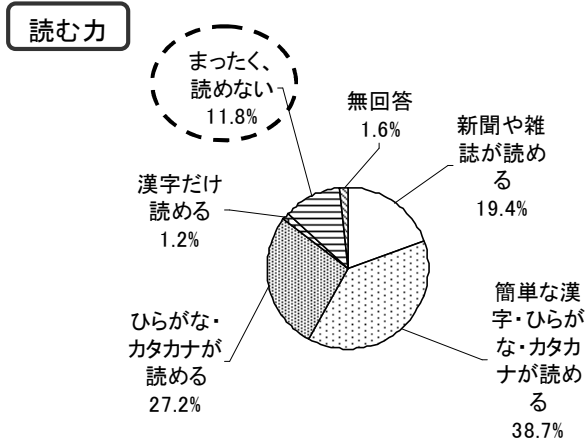
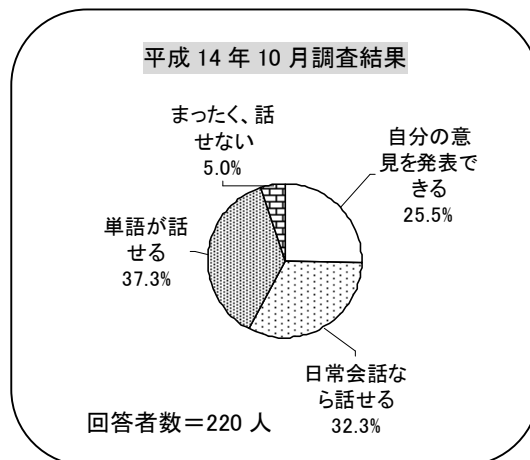
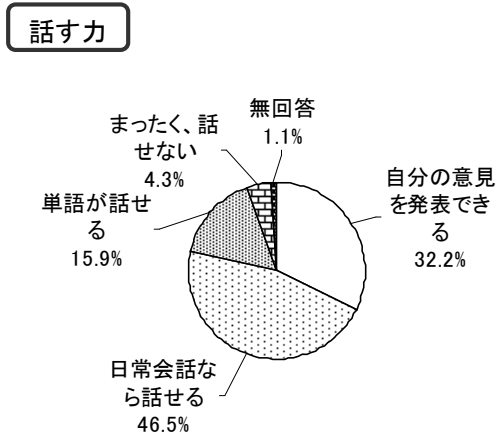
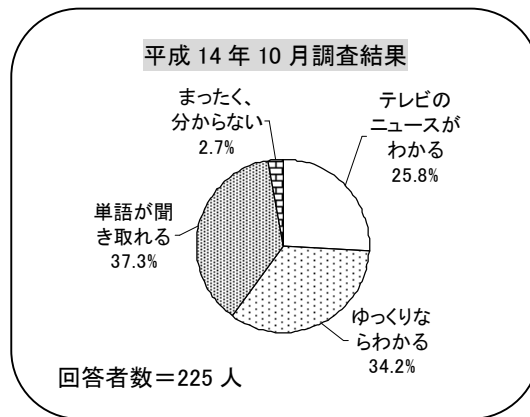
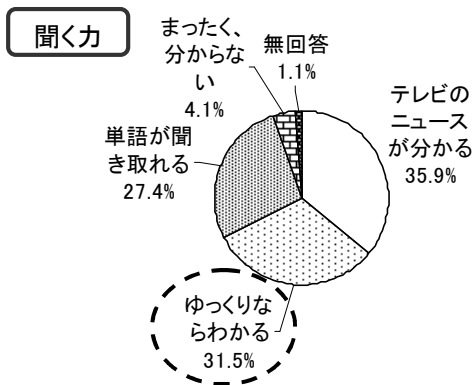
Q. 現在の住まいの種類は？



日本語能力

- ・ 在日年数は長期化しているがまだ日本語が不十分な人が多い。
- ・ 「ゆっくりなら聞き取れる」を含めると 67%が日本語を聞き取れる。
- ・ 読む力と書く力は、聞く力と話す力よりまったくできない人が多い。
- ・ 「聞く」「話す」の日本語能力が向上している。

Q. 日本語がどのくらいできますか？



- ・ 病院や市役所で通訳や翻訳を必要と感じている人が多い。
- ・ フィリピンは「学校の手続きや面談」「買い物をするとき」「町内活動に参加するとき」に通訳を必要と感じている人が多い。

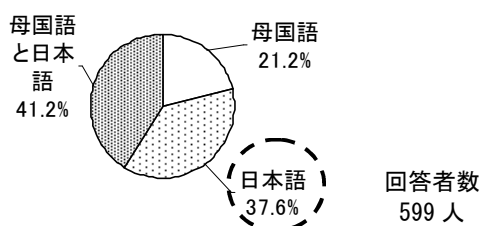
Q. どんな場合に通訳や翻訳が必要ですか？（複数回答）

単位：%

	全体	ブラジル	中国・台湾	フィリピン	その他
病院へ行くとき	46.9	55.4	36.8	42.4	51.2
市役所での手続き	42.6	51.8	26.7	45.4	47.5
学校の手続きや面談	16.0	16.4	7.4	29.2	16.4
買い物をするとき	5.0	0.7	4.3	15.5	4.5
町内活動に参加するとき	9.6	10.3	4.0	18.1	9.0
その他	5.2	5.0	3.6	8.1	5.3
必要ない	27.4	23.4	45.5	10.7	22.1
無回答	5.7	2.3	5.2	15.1	4.1

- ・ 外国人の子どもは母国語よりも日本語を使っている子のほうが多い。

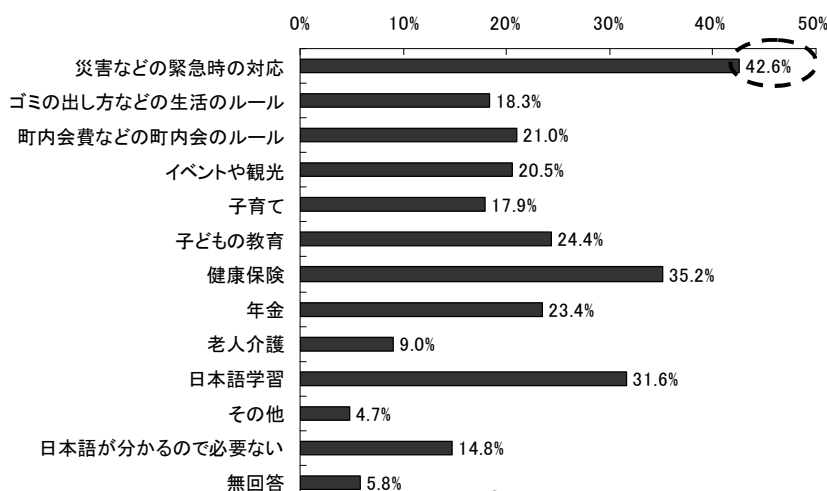
Q. お子さんは主に何語を使っていますか？（15歳以下の子どもがいる人のみ回答）



生活に必要な情報とその入手先

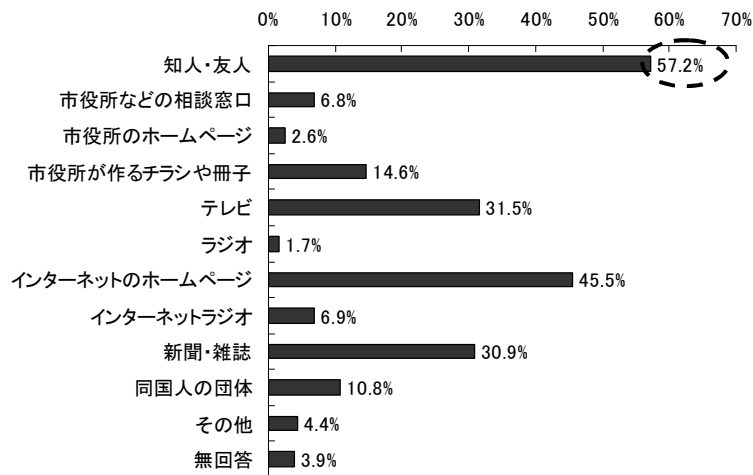
- ・ 母国語による情報が必要と最も感じているのは、災害などの緊急時の対応に関する情報。

Q. 母国語での情報提供を充実して欲しいものはどれですか？（複数回答）



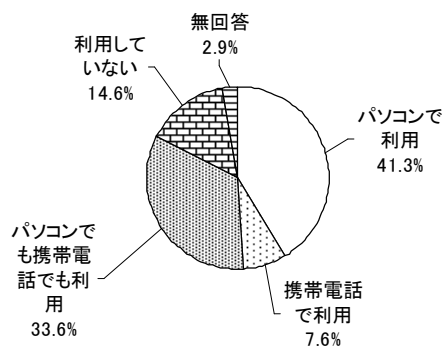
- ・生活に必要な情報は口コミにより得ることが最も多い。
- ・母国語のホームページ、テレビ番組、雑誌等の利用者も多い。

Q. 母国語で生活に必要な情報は主にどこから得ますか？（複数回答）



- ・8割以上の方がインターネットを利用しています。

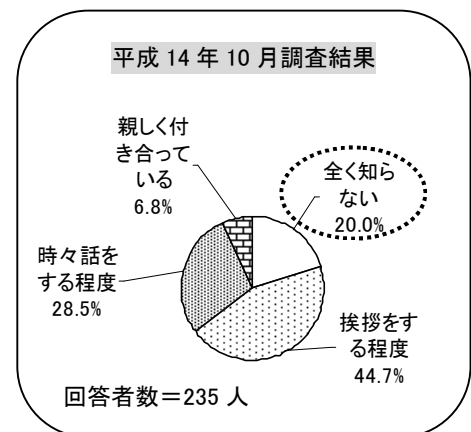
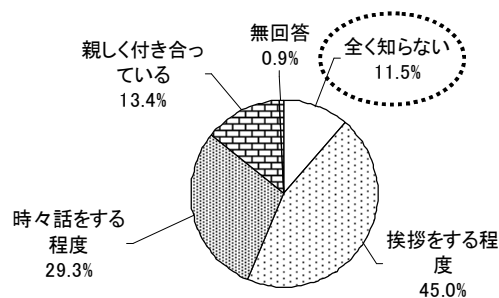
Q. インターネットを利用していますか？



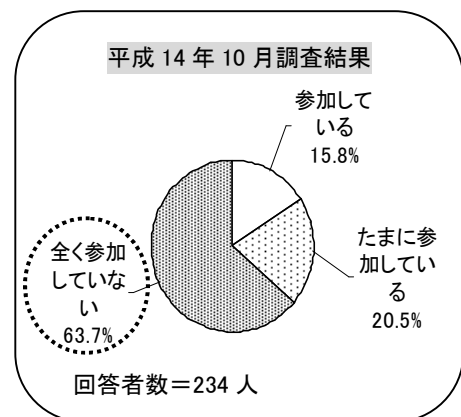
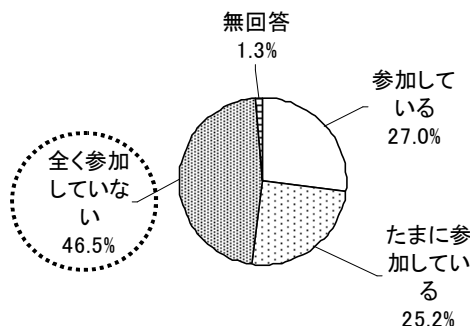
地域での生活

- ・ 地域で日本人と全く付き合いがない人が減って、地域の行事へ参加する人が増えています。
- ・ 行事に参加しない理由は、行事の情報がなかったなどの理由が多く、関心がないから参加していない人は少数。

Q. あなたの周りに住んでいる日本人とどのくらい付き合いがありますか？

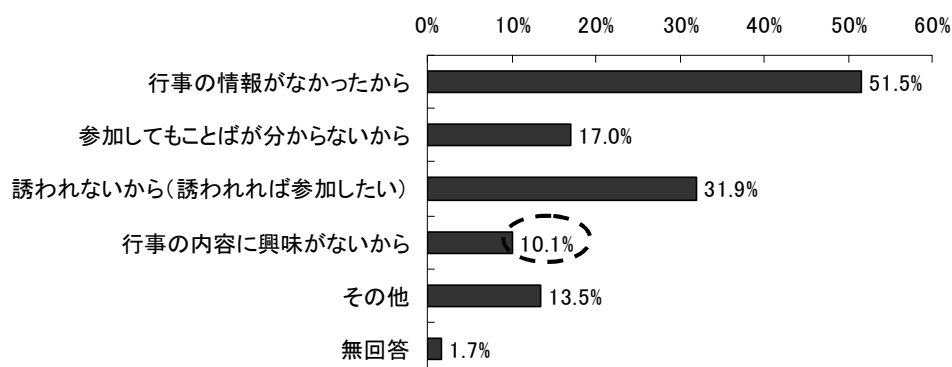


Q. 町内のお祭りや清掃活動など、地域の行事に参加していますか？



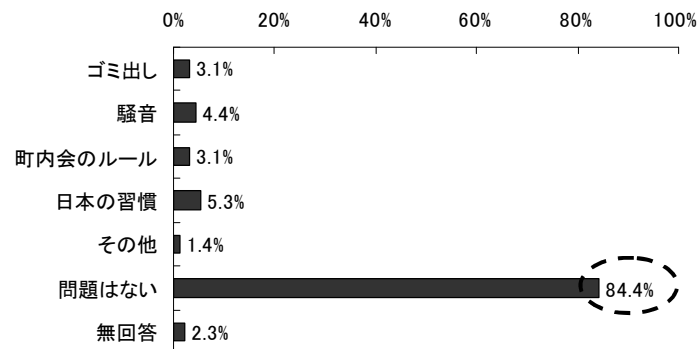
Q. 地域の行事に参加しない理由は何ですか？

(「全く参加していない」人のみ回答・複数回答)



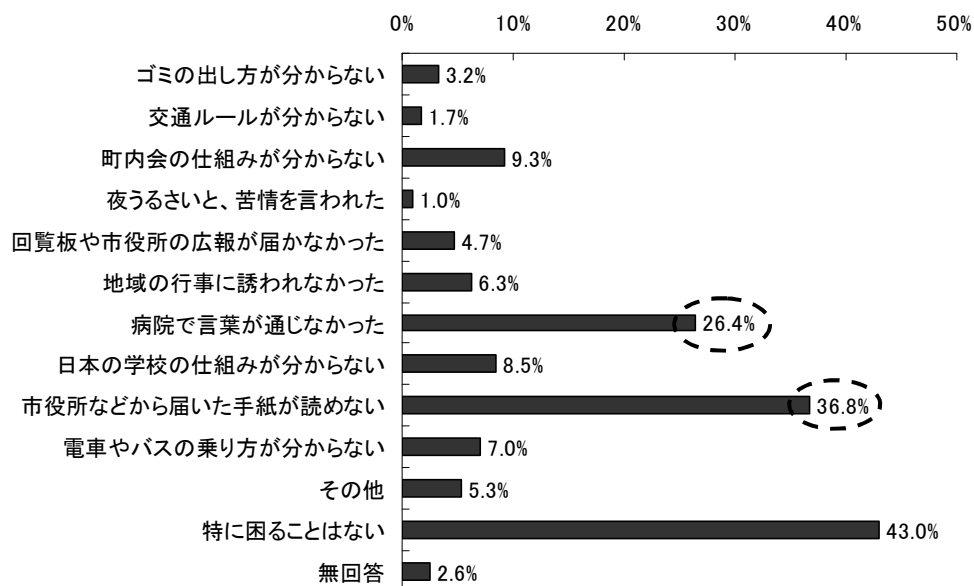
・地域の日本人とのトラブルがあると感じている外国人は少ない。

Q. あなたは周りに住んでいる日本人と生活上どんな問題がありますか？（複数回答）



・日常生活で特に困ることは、病院と市役所の言葉の問題。

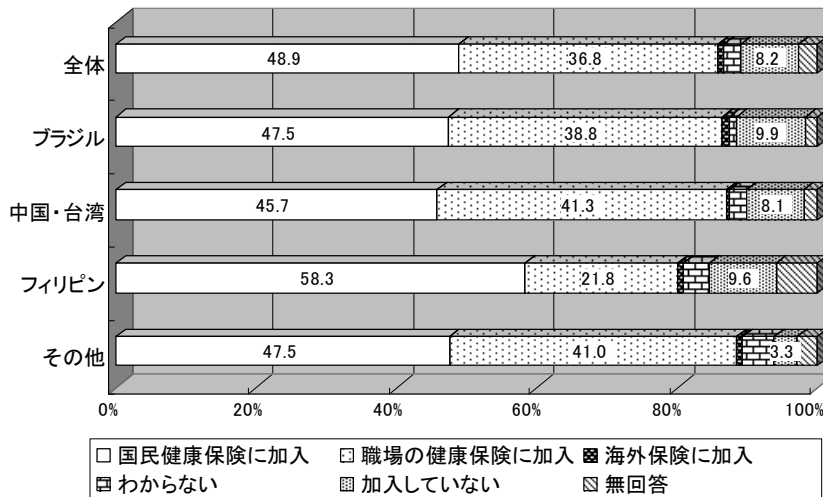
Q. 日常生活で、特に困ったことは何ですか？（複数回答）



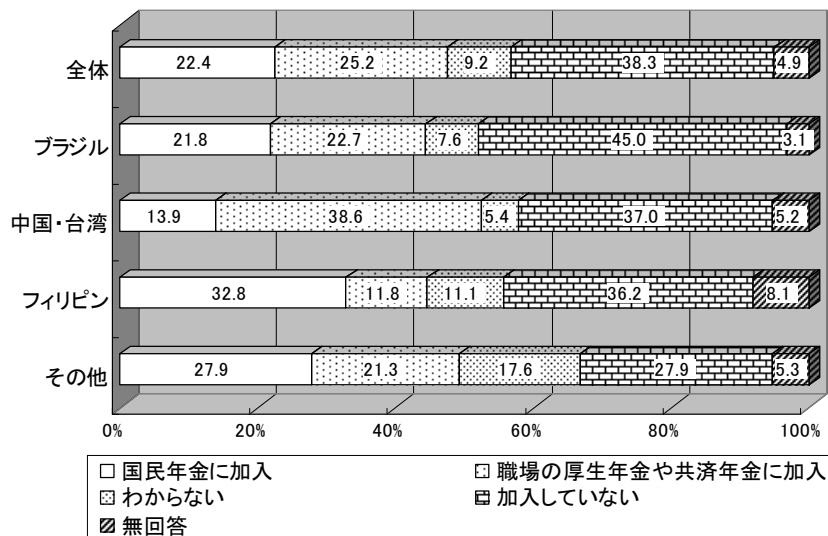
健康保険と年金

- ・年金への加入率が低い。
- ・制度を知らない、理解していないため加入していない人が少なくない。

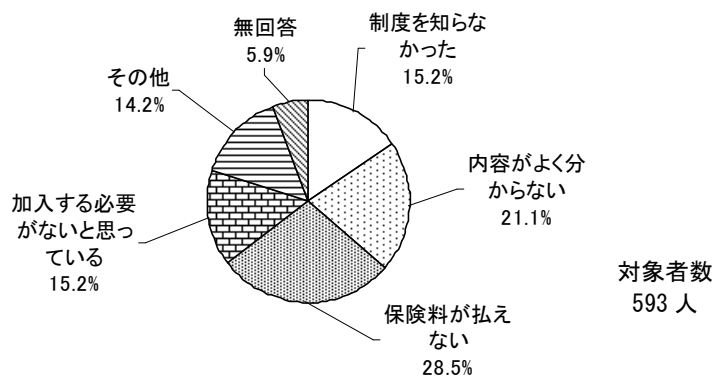
Q. 健康保険に加入していますか？



Q. 年金に加入していますか？



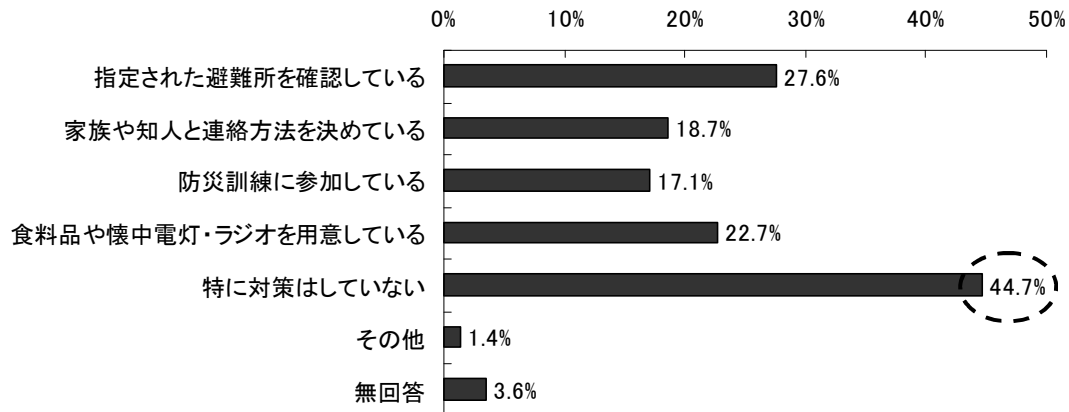
Q. 年金に加入していない理由は何ですか？



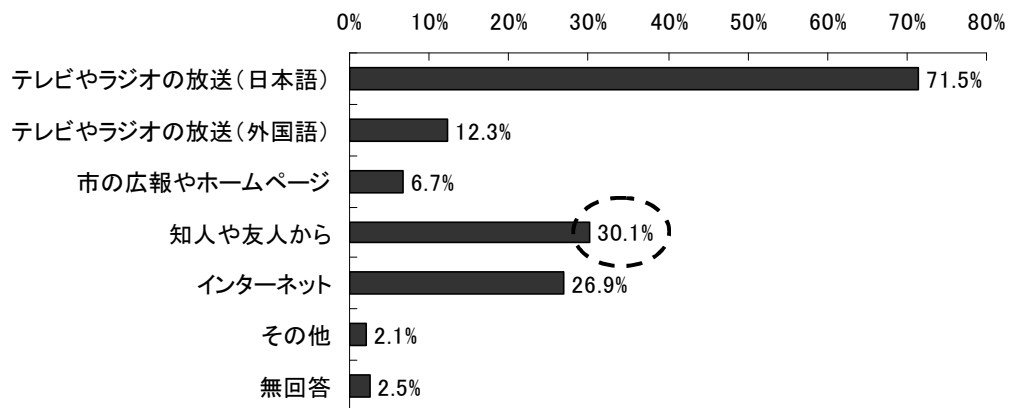
防災対策と情報

- ・ 防災対策については、特に対策をしていない人が最も多い。
- ・ 日本語のテレビやラジオ以外では、災害情報を知人からの情報に頼っている人が多い。

Q. 地震や大雨などの災害に対する対策をしていますか？（複数回答）

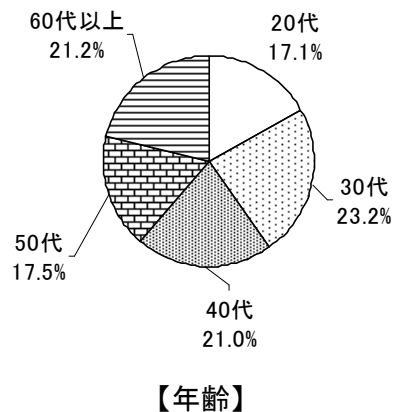
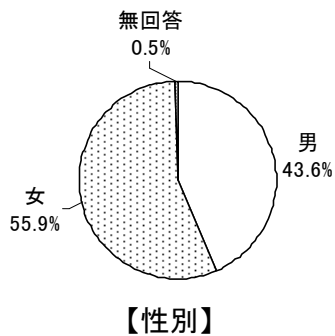


Q. 地震や大雨などの災害発生の情報はどこから入手しますか？（複数回答）



3. 日本人市民の調査結果

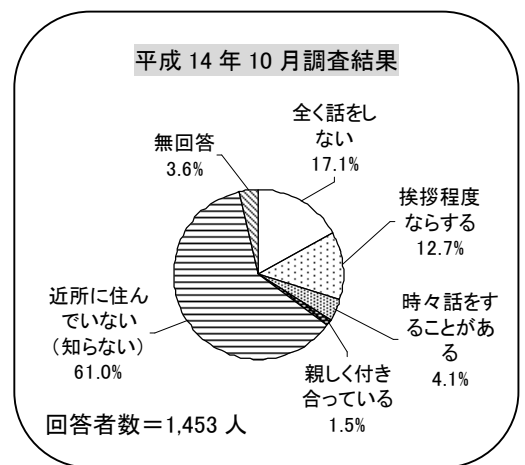
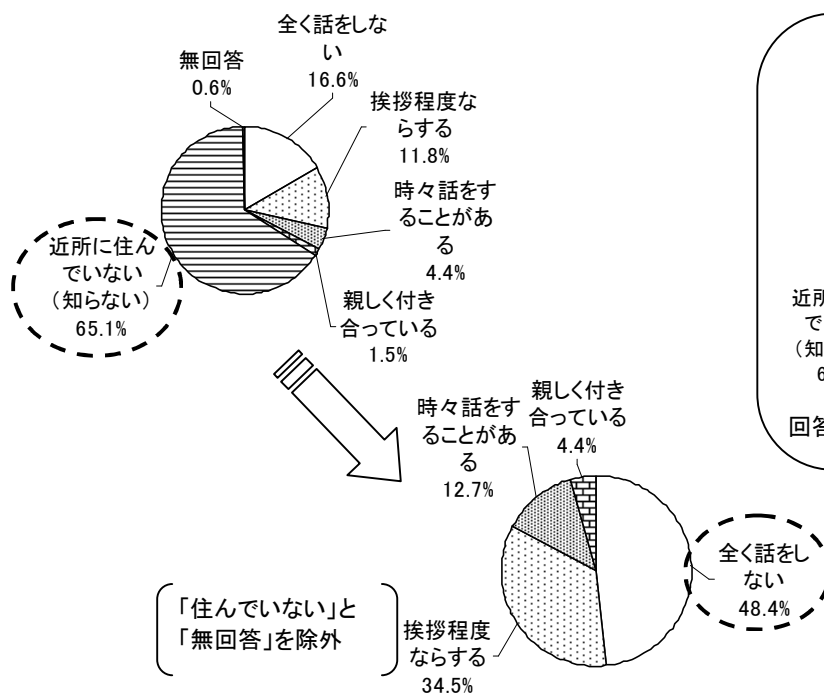
回答者の属性



外国人市民との共生

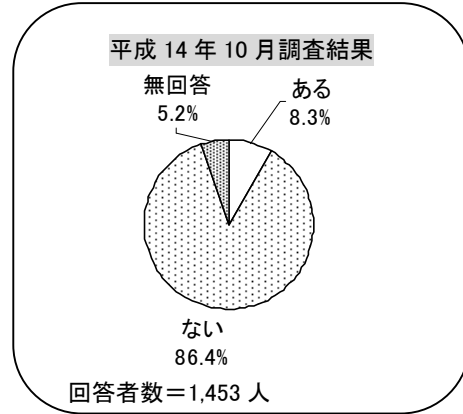
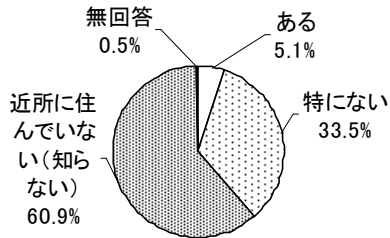
- ・ 近所に外国人が住んでいない（知らない）人が大半を占めています。
- ・ 外国人が住んでいると認識しているが、全く付き合いがないという人が約半数を占めています。
- ・ 平成 14 年と比べて大きな変化はありません。

Q. 近所に住んでいる外国人とどのような付き合いがありますか？

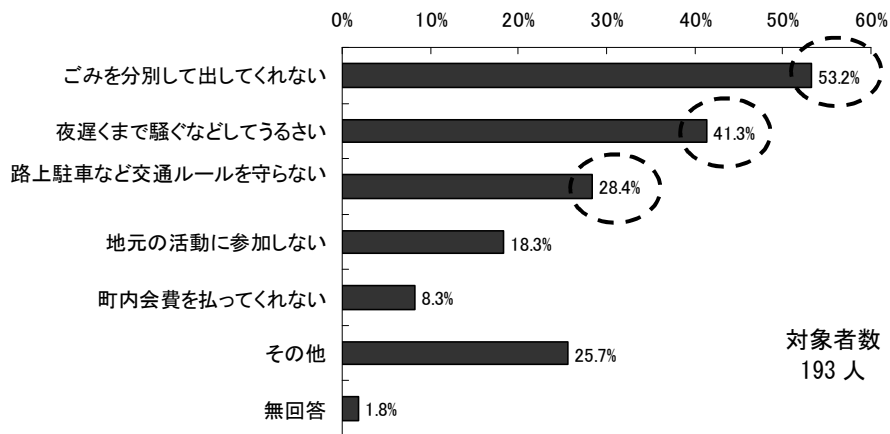


- ・近所に外国人が住んでいても、ほとんどの人は特にトラブルはないと思っています。
- ・トラブルで多いのは、ごみ分別→騒音→交通ルール の順番。

Q. お住まいの地域で外国人とのトラブルがありますか？

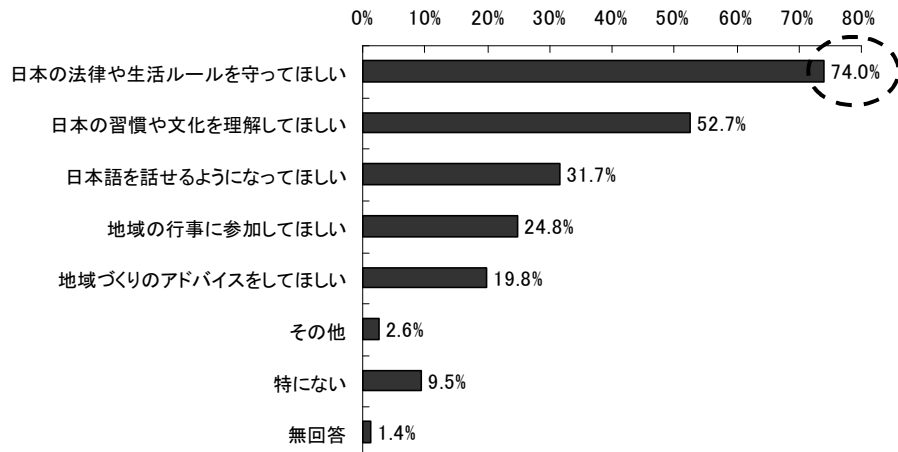


Q. どのようなトラブルがありましたか？（トラブル「ある」と答えた人のみ。複数回答）



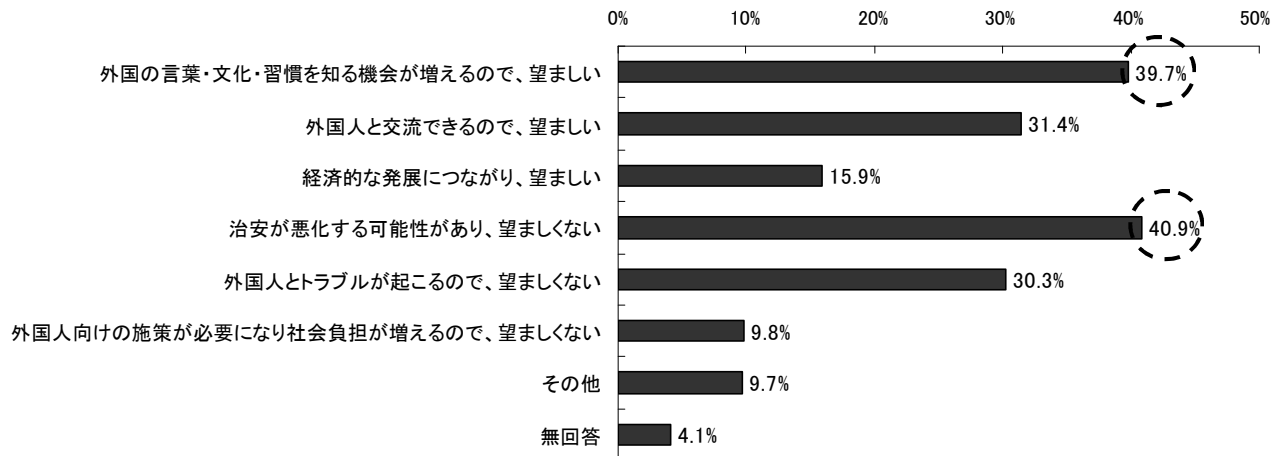
- ・日本人が外国人に最も期待することは、日本の法律や生活のルールを守ってもらうこと。

Q. 地域で暮らす外国人にどのようなことを期待しますか？（複数回答）



- ・外国人市民が増えることに対して、望ましいと考える人と望ましくない
と考える人は、ほぼ同数。
- ・外国の文化などを知ることができるなどの理由で望ましいと考える人が
多数いる反面、治安の悪化を心配する人も多い。

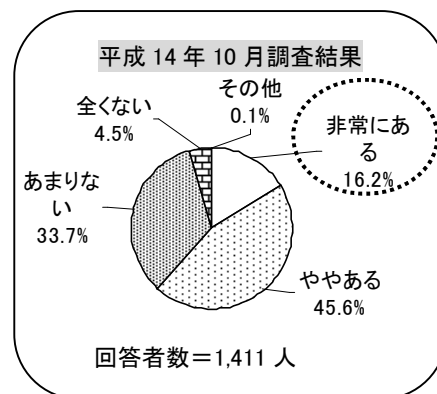
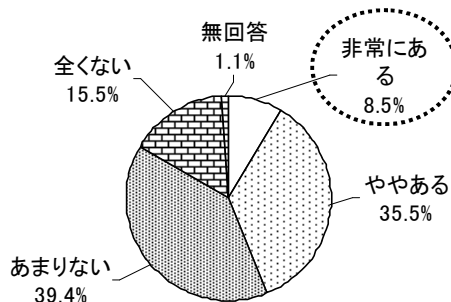
Q. 岡崎市に在住する外国人が増えることに対してどう思いますか？（複数回答）



国際交流・国際理解について

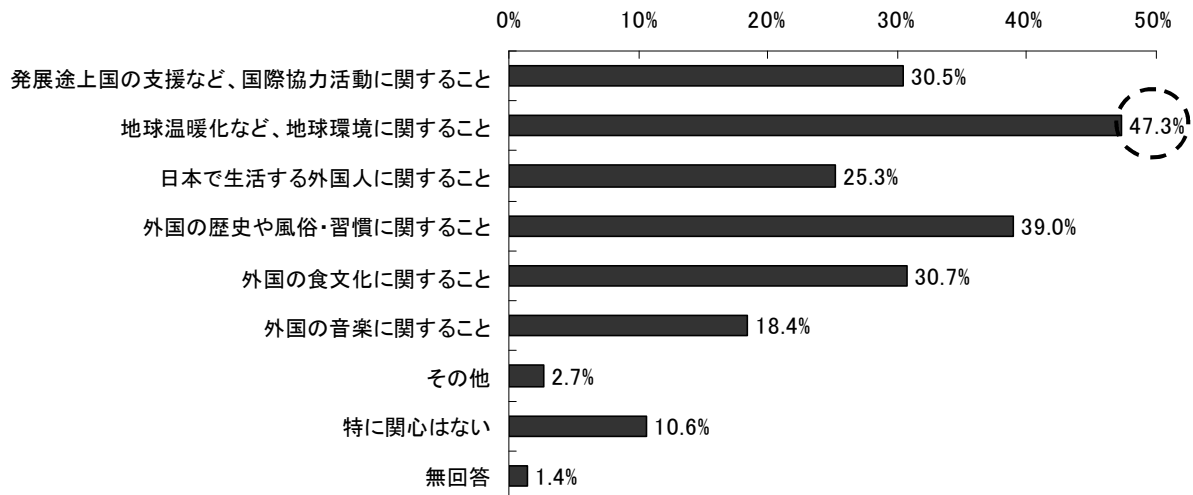
- ・国際交流に対する関心は低下しています。
「非常にある」 + 「ややある」 = 61.8% → 44.0%

Q. 国際交流に関心がありますか？



・外国の文化や歴史のほか、地球環境への関心が高くなっています。

Q. 国際情勢や外国の文化などに関することで、どのようなことに関心をもっていますか？
(複数回答)



・子どもへの教育のほか、在住外国人との交流が、国際理解を増進させるために重要と考えられています。

Q. 市民の国際理解の増進を図るためには、どのようなとりくみが重要だと思いますか？
(複数回答)

